

TAKE FREE

ご自由にお持ちください

水戸赤十字病院 広報誌

〒310-0011 茨城県水戸市三の丸3-12-48

TEL.029-221-5177(代表)

http://www.mito.jrc.or.jp

2023.03  
Vol.29

100<sup>h</sup>  
since  
1923  
2023  
Anniversary

虹の由来／架け橋となるような広報誌を目指します

虹



【特集】ロボット支援技術 累計1000症例を達成  
献血者の想いを込めた作品が寄贈されました  
～茨城県学生クリスマス献血キャンペーン～

放射線科での診断・治療のご紹介  
地域医療連携講演会を開催しました

# 地域医療連携講演会を開催しました。

令和5年2月27日（月）「令和4年度第2回地域医療連携講演会」を開催しました。

当日は放射線科、眼科、皮膚科、整形外科の各医師から、高額医療機器の共同利用や各診療科の強みや特徴について、多岐にわたる内容をご紹介させていただきました。

WEB参加のみでの実施ではありましたが、多くの医療機関の皆様にご参加いただきましたこと、心より感謝申し上げます。

今回の講演会でご紹介した高額医療機器の共同利用をはじめ、各科外来の受診に関してご質問等ございましたらお気軽に地域医療連携課までお問い合わせください。



放射線科 結城健生 副部長



整形外科 埜口博司 部長



眼科 大房隆行 副部長



皮膚科 小林桂子 部長

また、今年度は当院の各診療科医師と連携施設の先生方との信頼関係を強固にし、患者さまに適切な医療を提供するため、地域医療連携講演会を複数回実施しました。

今後も、連携医療機関の皆様へ当院の情報を発信できるよう努めてまいります。

## お知らせ

次号以降、今回行われた各講演について詳しくお知らせします。おたのしみにも！

## 産科の電話予約について

受診希望の妊婦さんからの電話予約を受け付けております。

☎ 029-221-5177(代)

受付時間：9:00～16:30（月～金）

※休診日(土・日・祝日など)を除きます。

「産科外来の予約を希望」とお伝えください。



## 「水戸日赤でお産」という選択肢

産婦人科医と経験豊富な助産師たちが、妊婦さんを一丸となってケアします。ハイリスクでないかたも、里帰り分娩のかたも、当院でのお産を歓迎します。



## 紹介状持参のお願い

次の場合は、「紹介状」が必要です。

- ・当院を初めて受診される場合
- ・当院での治療が終了し、再び来院され受診される場合
- ・患者さまが任意に診療を中止し、改めて受診される場合



お持ちでない方は

選定療養費 **7,700円** (税込) が必要となります。

産科を受診される方は、選定療養費はかかりません。皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

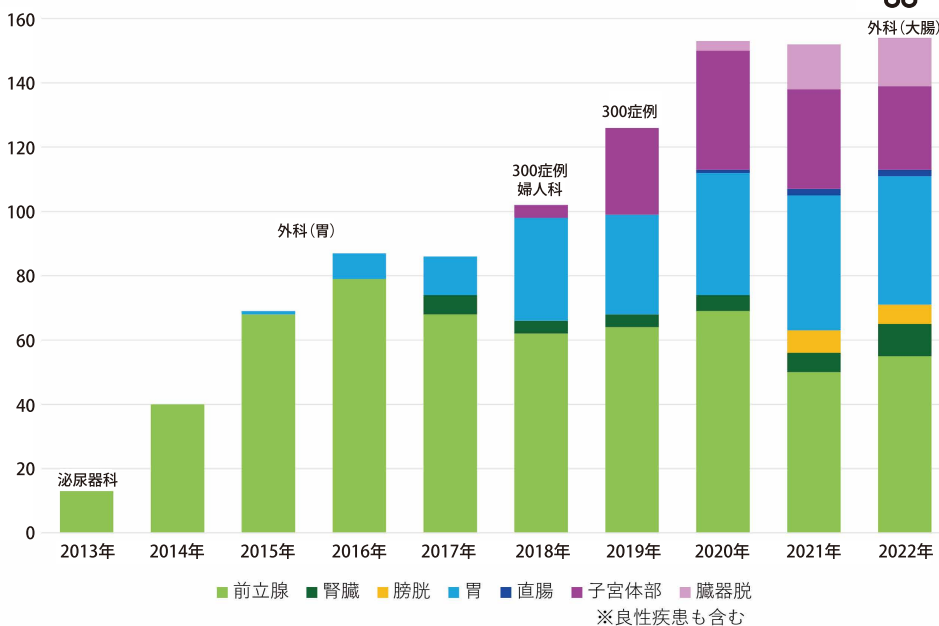
# ロボット支援手術累計1000症例を達成

当院では、2013年から内視鏡手術支援ロボット「da Vinci サージカルシステム」を用いたロボット支援手術を開始しました。

2023年2月7日、当院で実施したロボット支援手術の累計症例数が1000症例を達成しました。今回は当院でのロボット支援手術の軌跡をご紹介します。



## 当院のロボット支援手術件数の推移



### ロボット支援手術実施術式

#### 泌尿器科

- ・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術
- ・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術
- ・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術

#### 外科

- ・腹腔鏡下胃切除術
- ・腹腔鏡下噴門側胃切除術
- ・腹腔鏡下胃全摘術
- ・腹腔鏡下直腸切除・切断術

#### 婦人科

- ・腹腔鏡下腔式子宮全摘術
- ・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術（子宮体がんに限る）
- ・腹腔鏡下仙骨固定術

当院は、ロボット支援手術を幅広い領域で実施し、患者の皆さまに低侵襲な治療を提供しています。県内でも積極的に実施している医療機関のひとつで、2013年の泌尿器科での導入は県内2番目の早さでした。また、外科の胃がんに対する術式や婦人科の臓器脱に対する術式は県内で最も早く導入しました。保険診療で実施するためには、定められた要件をクリアする必要がありますが、現在当院で実施している術式については、すべて保険診療で実施しています。より多くの領域でロボット支援手術が治療の選択肢のひとつとなり、一人ひとりに合った医療が提供できるよう、今後も努めてまいります。

## 1000症例目執刀医 野澤英雄 副院長コメント

2013年に当院でのロボット支援手術1例目として前立腺全摘除術を実施してから10年、偶然にも当院創立100周年を迎える本年に、累計1000症例を達成することができました。2006年にまだ治験・薬事未承認だった初代ダビンチのテストドライブを行った際、その優位性・将来性を確信し、胸を熱くしたことを思い出します。

1000症例達成は、患者の皆さまをはじめ近隣医療機関の先生方からの信頼とご支援の賜物と感謝しております。次の100年に向けて、これからも地域の皆さまのご期待に添えるよう最善な医療の提供に努めてまいります。



泌尿器科 野澤英雄 副院長

### 2022年9月 直腸がんに対するロボット支援手術がスタートしました 外科 捨田利 外茂夫 下部消化管外科部長

2022年8月より直腸癌に対するロボット支援手術がスタートしました。腹腔鏡手術では、手術部位を拡大視できますが、ロボット手術では更に大きく拡大できます。手振れもなく、繊細な操作が可能です。これにより、直腸に密接する排尿や性機能を司る神経を温存でき、術後の排尿や性機能の向上が期待できます。今後も、当院の医療技術向上を求めて症例を重ねていきます。

# 献血者の想いを込めた 作品が寄贈されました

～茨城県学生クリスマス献血キャンペーン～

昨年12月、県内の献血会場で茨城県学生クリスマス献血キャンペーンが実施されました。そこで、茨城県赤十字血液センター協力のもと、「献血者の想いを形に」をコンセプトに、血液バッグを模した作品が、学生赤十字奉仕団の皆さまによって制作されました。血液に見立てた小物が詰まったバッグには、輸血を待つ患者さまを勇気づけたい、応援したい、という想いが込められています。

作品は2月20日（月）に当院に寄贈され、本館1階に展示中です。

ご来院の際に、ぜひご覧ください。



## 野澤副院長から学生へのコメント

作品にも本物の血液バッグにも、献血者の善意や想いが詰まっていると思います。ご協力いただいた方の想いを無駄にしないよう、血液をしっかり管理し、出来る限りの力を尽くして、患者さまの命を救うことが私たちの使命です。日本赤十字社の活動に興味を持ち、献血者の想いを作品で表現していただき、ありがとうございました。



寄贈式後の輸血検査室見学の様子

## 放射線科での診断・治療のご紹介

令和4年8月から、放射線科常勤医として勤務しております。専門は画像診断、血管内治療です。非常勤読影医の協力もあり、より迅速で適切な画像診断報告書を提供できる環境が整いつつあります。

血管内治療に関しましては、肝細胞癌に対する肝動脈化学塞栓療法（TACE）、症候性子宮筋腫や産後出血に対する子宮動脈塞栓術（UAE）、止血困難な大腸憩室出血に対する動脈塞栓術などの治療を行っています。他にも、喀血に対する気管支動脈塞栓術（BAE）、内臓動脈瘤や出血リスクの高い腫瘍（良悪性ともに）に対する動脈塞栓術などの治療も可能です。

地域の先生方におかれましては、皆様の日々の診療に対し、画像診断の側面から、今まで以上に貢献できると考えております。是非当院放射線機器をご利用ください。また、血管内治療の適用症例がございましたら、各診療科経由でご相談ください。



放射線科  
結城 健生 副部長

### 血管内治療とは…

足の付け根や肘、手首の血管から細い管を挿入し、大動脈を経由して脳や心臓・肝臓・子宮などの疾患を治療する手術法。